

第2回熊本県腎不全看護研究会

アンケート集計結果

149名中 95名アンケート回収

日時 2008年2月24日(日)9:45～

場所 済生会熊本病院 外来がん治療センター

4F コンベンションホール

【情報提供】 9:45～

「P,Ca代謝の最近の話題」

【講演 1】 10:10～11:30

『透析スタッフが元気に仕事をするために』

熊本大学附属病院 臨床心理士 岡崎 光洋 先生

【講演 2】 11:40～13:00

『透析看護と病みの軌跡』

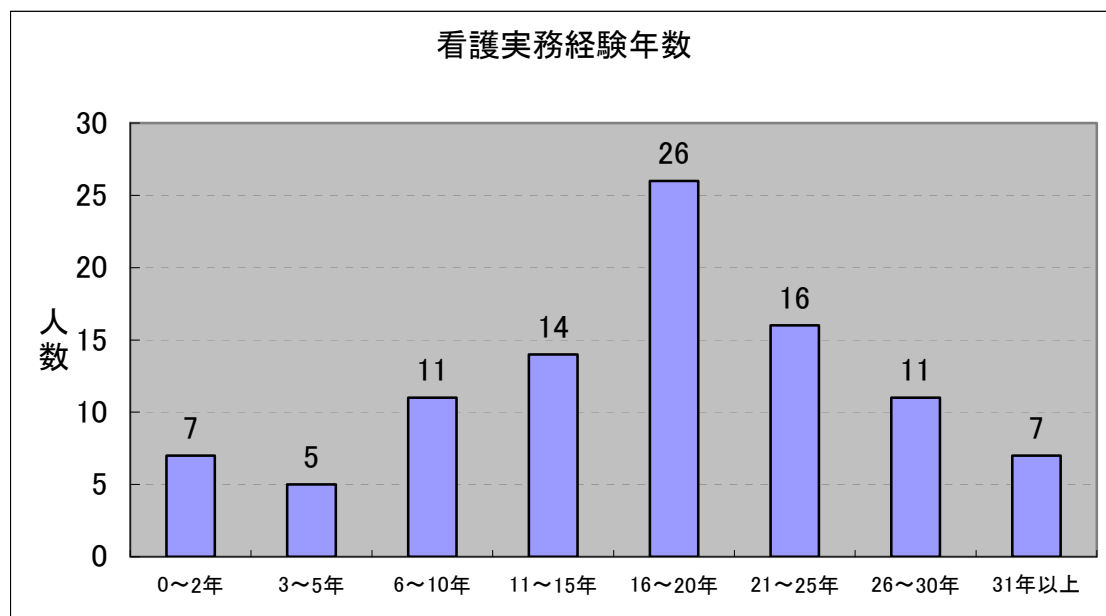
日本赤十字九州国際大学 准教授 下山 節子 先生

嶋田病院 宮本 友子

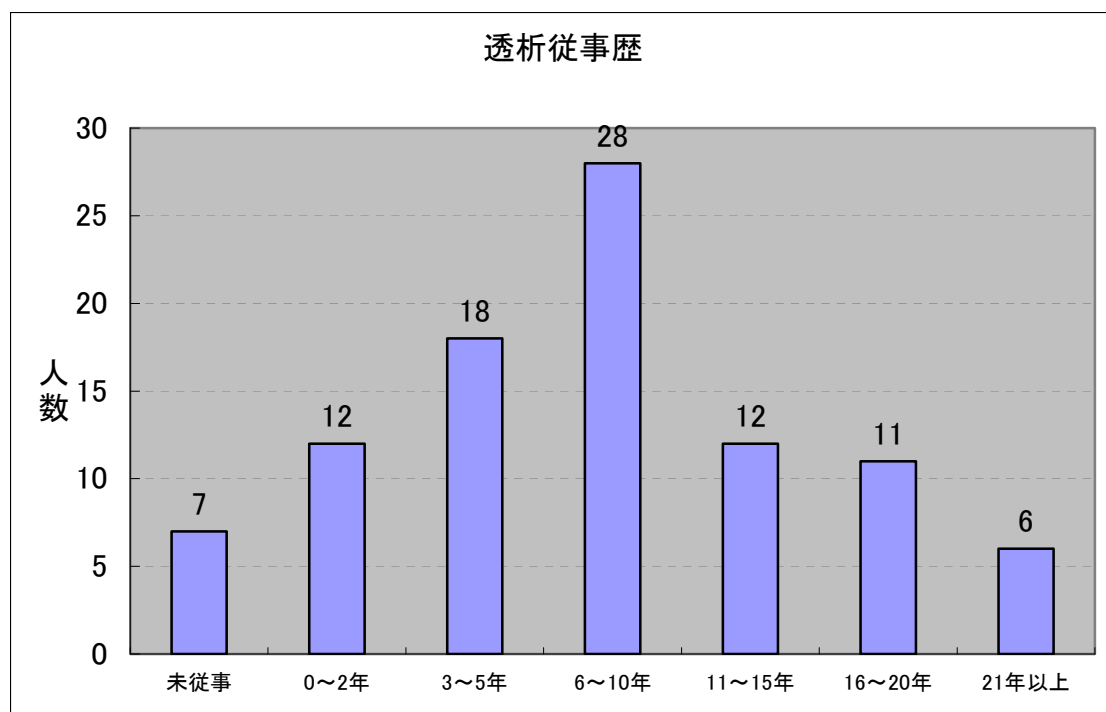
嘉島クリニック 松原 久子

研修アンケート結果

Q1：あなたの看護実務経験を教えてください。



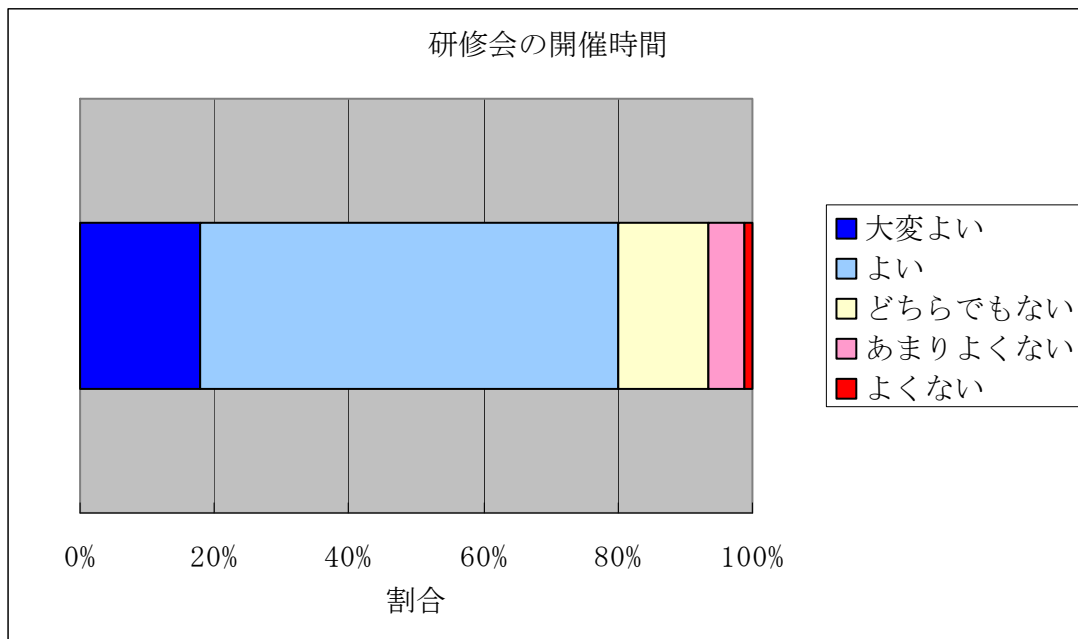
Q2：あなたの透析従事歴を教えてください。



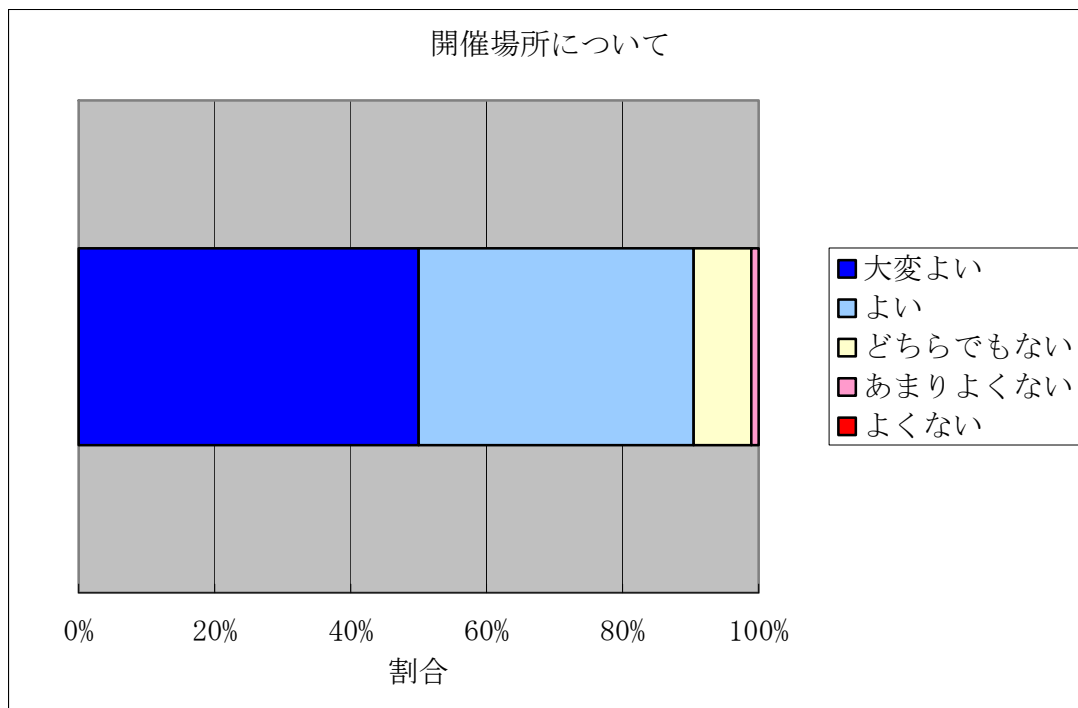
Q3：全体の構成・内容はいかがでしたか。

[5：大変よい 4：よい 3：どちらでもない 2：あまりよくない 1：よくない]

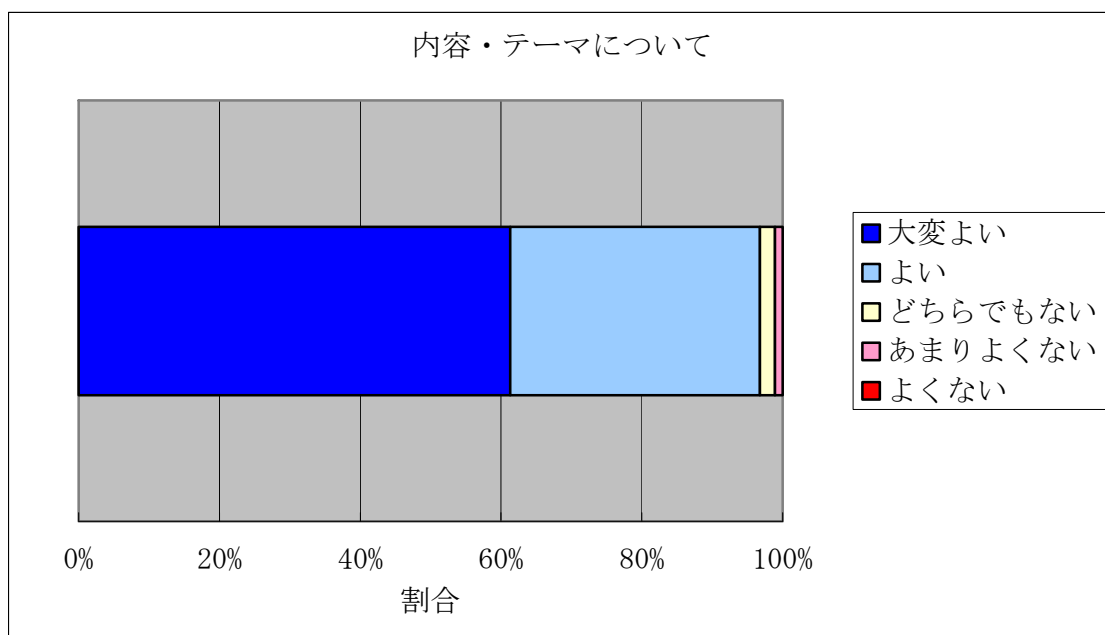
1) 研修会の開催時期



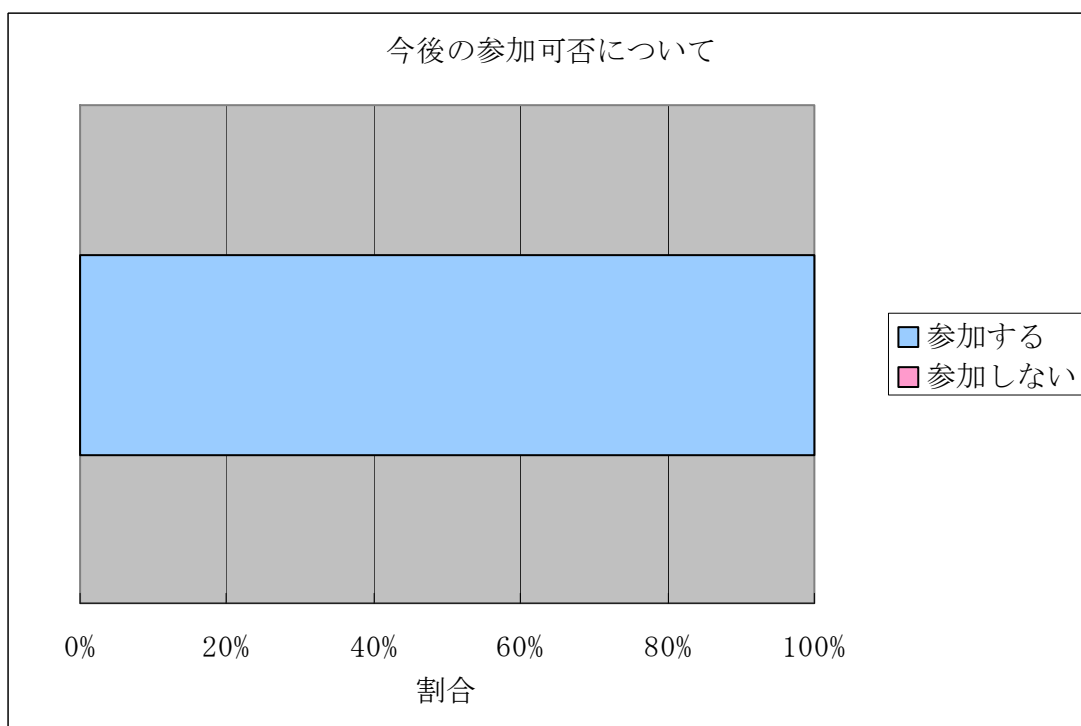
2) 研修会の場所について



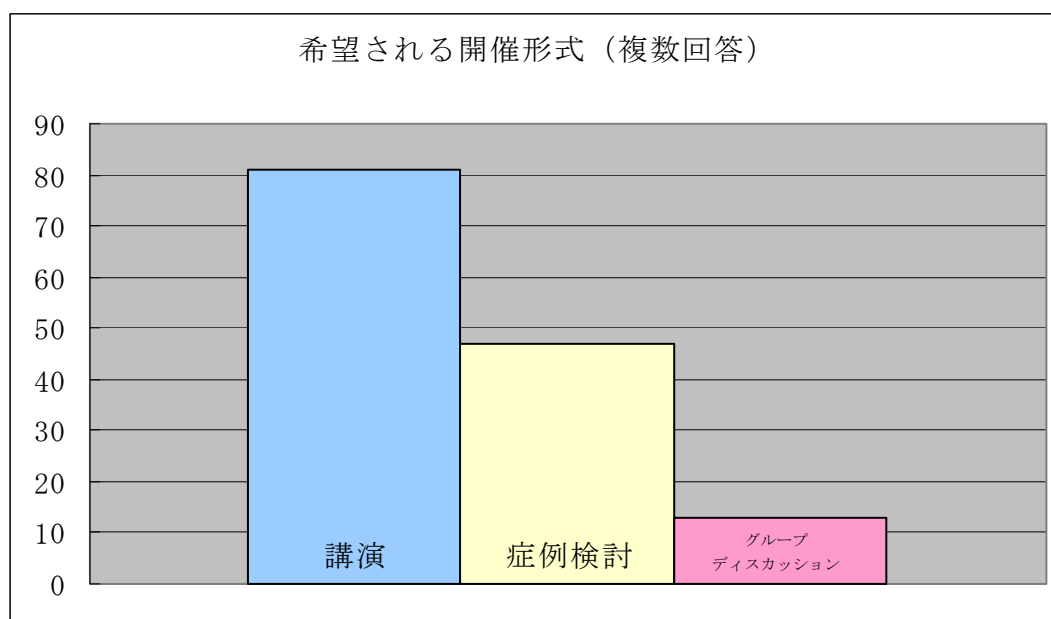
3) 内容・テーマについて



4) 今後このような研修会を開催するとしたらご参加いただけますか。



Q4：今後このような研修会を開催するとしたらどのような方法を望まれますか。



Q5：今後取り上げてほしいテーマがあればご記入下さい。

腹膜透析、看護について	3
フットケアについて	1
長期留置カテーテル、テシオカテーテルについて	2
糖尿病、糖尿病性腎症	2
困っている患者の事例検討	1
介護支援のすすめかた	1
コーチング	2
心理学	1
メンタルケアについて	1
人間関係 医療人（者）人について	1
透析患者の家族とのかかわり方、指導など	1
終末期の透析患者への対応	1
患者からの言葉の暴力に対する対応	1
スタッフと患者のコミュニケーションの取り方	2
もんだいのある患者への接し方、言葉かけ	1
忙しい業務の中で、患者とのコミュニケーションの取り方	1
岡崎先生の講演をシリーズで→アドヒアランスや自己効力について	1
認知症対応、認知症患者との関わり方	2
透析中の認知症患者の対応、訴え、透析中断など	1

医療安全、リスクマネジメント、医療事故（トラブル、記録）	4
災害時訓練（Nsの対応）、災害対策	2
栄養指導、食事指導（実際の指導について）食事管理	3
感染、透析室の感染予防、	3
患者教育、患者指導（自己管理）	3
病みの軌跡についての講習会を是非	1
病みの軌跡 パートⅡ	1
新人教育について	1
時間をうまく使う方法	1
下肢つりの予防方法	1
記録、看護記録	2
看護計画など	1
保存期の看護	1
高齢患者の透析	1
透析治療中のリスク→症例、対策など	2
薬について（熊大 平田純生先生）	1
導入指導の連携	1
他の医院の透析看護	1
透析施設間のネットワーク作り	1
まだ2ヶ月目で色んなことを理解できていないので、全てのことを知りたい	1

6：その他、感想、要望点、改善点等がありましたらお聞かせ下さい。

- ・講演を聴けて元気になりました。
- ・病みの軌跡、取り組んでみたいと思います。
- ・日頃の看護を見直す機会となりました。
- ・病気、人間、心を看れるNsになれる様努めたいと思います。
- ・透析に関わりだして、まだ期間の短い私が理解するのに良かったです。
- ・とても参考になる講演でよかったです。
- ・初めて参加させていただきましたが、とても分かりやすく勉強になりました。
- ・岡崎先生、下山先生ありがとうございました。患者様への思いを大切にしていきます。
- ・岡崎先生の講演は、今後の仕事をするうえでとても役に立ちました。病みの軌跡を理解することで、患者を理解し、看護介入できるかを知ることができました。病みの軌跡の考え方を今まで知らなかったなので、今日知ることができて良かった。患者さんからのメッセージは、今後も心に留めて、患者様にとっての看護につないでいきたいと思いました。心に一番ひびきました。
- ・岡崎先生の講演は大変勉強になりました。業務、家庭に役立てることが出来ます。

- ・今回の講演のテーマ2題とも大変よかったと思います。有意義な時間を過ごせました。
- ・今回の岡崎先生は、とてもいい企画だったと思います。毎日とても忙しく、疲れた心と身体に元気をもらえたような思いです。しかし、反面心のテンションが上がりすぎて、下山先生の講演に身が入りませんでした。岡崎先生のあとにあのかたい話は入りにくいのでは？（私だけかもしれませんが）と思いましたが、聞いていくうちに「病みの軌跡」の重要性に気付き、大変勉強になりました。事例が入っていて分かりやすかったです。後半暖房が効きすぎて暑かったです。誰に伝えていいかわかりませんでした。
- ・室温が低いのか寒かった。
- ・寒いです。室温の調整をきちんとして下さい。
- ・会場内がとても暑かった。温度設定をどうにかしてほしいです。
- ・出入口の近くはかなり冷えたので、できれば開放しっぱなしにされない方がよかったです。
- ・会場はとてもいいと思いました。
- ・この研究会は、何を目的に立ち上げられたのですか？
- ・概念などばかりでなく、実践の場で活かせるような内容の講義もお願いします。
- ・演題は一つでよいのではないか。
- ・研究会のその会のテーマ、柱というものはつきり打ち出し、それに沿った講演、講師を選んでほしい。
- ・情報交換を積極的にできるような場にしたい。
- ・昼の分は、ランチョンセミナー（有料であっても良い）にして欲しかった。
- ・毎回日曜日というよりも、できれば他の講演会などのように火・木・土であるとうれしいです。（唯一の確実な休みで、家族もいるので）
- ・研修時間、開始時間が少し遅いような…昼には終わってほしい。
- ・質問の時間も限られているが、直接お話を聞かせていただく時間も設けてもらいたい（終わった後でも）先生方が大変かと思われませんが。
- ・オキサロールの話、早すぎて、早すぎて、頭に残っていません。書き留めもできませんでした。

第 2 回腎不全看護研究会議事録

日時 2008 年 2 月 24 日（日） 9 ; 4 5 ~

場所 済生会熊本病院 外来がん治療センター 4 F コンベンションホール

【演題 1】 『透析スタッフが元気に仕事をするために』
熊本大学附属病院 臨床心理士 岡崎 光洋 先生

【演題 2】 『透析看護と病みの軌跡』
日本赤十字国際看護大学 准教授 下山 節子 先生

質疑応答記録

【演題 1】 《岡崎先生の講演を終えて》

Q: 透析は同じ患者様や職員と毎日会う仕事なので、楽しく明るい職場づくりを心がけていますが何かアドバイスがあれば教えていただきたい。

A: おっしゃるとおり透析医療はマンネリ化がおきやすい環境にあります。それで私は職員の雑談力（世間話ができる力）が必要だと思います。又「今日の透析に来れた。」「今日も透析が無事終わった」といった今日の透析への肯定感を持つことが大事だと考えています。

Q: 同じように同じ患者様と何年ものお付き合いをすることになるので言葉使いに悩むときがあります。患者様への言葉使いはどうしたらいいのでしょうか。

A: 馴れ馴れしい言葉使いに対する反発はありますが、当人に合った言葉を使うといいと思います。周りの言葉に振り回されなくていいのではないですか。

【演題 2】 《下山先生の講演を終えて》

Q: 透析時間が 4 時間と短い方に話を聞くときの場所などのポイントはありますか？

A: まず患者様にお話を伺う理由や趣旨をお話して、場所や時間などのご希望を聞きます。
自分たちの病院では看護学生が話を伺う場合は同意書をいただいています。大抵の患者様は透析室でのお話を了解されます。
透析のプロとして今までの経過や経験を伝えたいと思われているからだと思います。

入院の方などは面談室などを利用して 15 分から 20 分ほどの時間をいただくことがあります。

Q：キーパーソンに電話でお話したとき「今のままでいい」と言われそれ以上話
ができない場合があるのですが・・・

A：電話では相手の顔が見えないのでできれば来院していただくか、訪問してフ
ェーステューフェイスでお話されるほうがいいと思います。

ご家族も看護の仕事への理解がない場合があるので、今後の仕事への背梅井
が必要かもしれませんね。

書記

仁誠会

吉田美幸